

平成29年3月24日

各 位

PCIソリューションズ株式会社
代表取締役社長 天野 豊美

株式会社アマネク・テレマティクスデザインが国土交通省・NEXCO 公募 「高速道路における逆走対策技術」の実証実験テーマ 28 件に選定

国土交通省及び東日本・中日本・西日本高速道路株式会社が公募した「2020 年までの逆走事故ゼロを目指した逆走対策技術」に、当社が事業参画している株式会社アマネク・テレマティクスデザイン（以下、アマネク社 <http://amanek.co.jp/>）が提案した「マルチメディア放送による順走車向け逆走警告」が選定されました。

国土交通省では 2020 年までに逆走事故ゼロを目標に掲げ、平成 28 年 3 月に「高速道路での逆走対策に関するロードマップ」を策定、NEXCO がその取り組みの一環として民間企業との協働体制を構築し技術開発を強力に推進していくことを目的に公募が行われました。

100 件の応募技術から、アマネク社の提案を含む 28 件が選定されました。

今後、NEXCO との調整を経て、平成 29 年度より概ね 1 年程度実道での検証等を行い、平成 30 年度からの実用化を目指します。

当社ではこれまでに培った自動車関連組込み技術、マルチメディア放送関連技術を活用し、アマネク社の取り組みを技術面から支えてまいります。

アマネク社はクルマの安全とドライバーの安心、そしてドライブの楽しさを最大化することを目的とした「クルマのデジタルラジオ『A m a n e k チャンネル』」を運営するデジタルラジオ放送局です。

詳細につきましては、次ページ以降の同社プレスリリースをご確認ください。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

PCIソリューションズ株式会社
プロダクトソリューション事業部

Mail-address : pmo@pci-sol.com

Telephone : 03-5633-8260

報道各位

アマネク・テレマティクスデザインは、国土交通省・NEXCO が公募した 「高速道路における逆走対策技術」の実証実験テーマ 28 件に選定

国土交通省及び東日本・中日本・西日本高速道路株式会社（以下「NEXCO」）が公募した「2020 年までの逆走事故ゼロを目指した逆走対策技術」の28件に、株式会社アマネク・テレマティクスデザイン（東京都千代田区、代表取締役社長 今井武、以下「アマネク」）が提案した「マルチメディア放送による順走車向け逆走警告」が選定されました。今後、NEXCOとの調整を経て、平成29年度より概ね1年程度、実道での検証等を行う予定であり、平成30年度からの実用化を目指します。

アマネクはこれからも、モビリティにおける社会課題解決に積極的に取り組んでいきます。

【高速道路における逆走対策技術の公募概要】

国土交通省では 2020 年までに逆走事故ゼロを目標に掲げ、平成 28 年 3 月に「高速道路での逆走対策に関するロードマップ」を策定し、今後の逆走対策を道路側・運転者側・自動車側それぞれからハード・ソフト面での重層的な対策を講じていくこととしています。当公募は、NEXCO がその取り組みの一環として民間企業との協働体制を構築し技術開発を強力に推進していくことを目的としたもので、平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 2 月 10 日 の期間で募集が行われ、100 件の応募技術の中から 28 件が選定されました。

【アマネク提案技術概要】

選定された「マルチメディア放送による順走者向け逆走警告」は、V-Low マルチメディア放送「Amanek チャンネル」を通して、逆走車両が発生した場合にそのエリアの車両に放送波で警告を伝えることが出来るものです。アマネクが開発したデジタルラジオ放送技術は、逆走検知センサーや逆走検知ができる通信カーナビからの逆走車両の位置情報をもとに、逆走車両が発生している道路路線のみに警告データを放送可能。Amanek チャンネルアプリや車載機（カーナビ等）から、逆走車の接近をエリア内を走行中の車両に自動音声（TTS：Text To Speech）にて警告できる技術です。



2017 年 3 月 24 日

株式会社アマネク・テレマティクスデザイン

また、Amanek スタジオでは、ドライブに必要な気象警戒情報やドライブ情報などを地図上に可視化できるコンテンツモニターを備えており、このモニター上に逆走車を表示することが可能です。番組放送中はスタジオからナビゲーター（アナウンサー）が、逆走車の存在をリアルタイムでドライバーに伝える事ができ、肉声によりさらなる事故防止につながられます。



【本技術におけるアマネクの研究について】

アマネクでは、安全・安心で、「人」と「社会」に優しいモビリティが不可欠であると考えています。今回の提案技術を開発・普及させることで、モビリティ社会が直面する様々な社会課題の解決の糸口になることを目指し、積極的に本技術の開発を推進していきます。

また、この技術を発展・応用し、これからの高齢化社会におけるモビリティ社会への提案、自動運転化に向けた技術の開発を行い、すべてのモビリティに安心・安全・快適を提供することに邁進してまいります。

2017 年 3 月 24 日

株式会社アマネク・テレマティクスデザイン

参考資料

＜株式会社アマネク・テレマティクスデザインとは＞

株式会社アマネク・テレマティクスデザインは、ドライバー向け専用デジタルラジオ放送局です。元本田技研工業株式会社役員待遇参事グローバルテレマティクス部長であった今井武を中心に設立。すべてのモビリティの「安全・安心・快適」を企業理念とし、テレマティクスサービス&コンテンツを、マルチメディア放送「i-dio」を通して、全放送エリアに提供します。

会社名：株式会社アマネク・テレマティクスデザイン

代表者：代表取締役社長 今井 武

所在地：東京都千代田区麹町1-7 FMセンタービル

資本金：8億2820万円（資本準備金含む）

URL：<http://www.amanek.co.jp/>

＜Amanek チャンネルとは＞

Amanekチャンネルは、日本初のモビリティ向けデジタルラジオ放送局。ドライブに役立つ情報やサービスをデジタル放送波（i-dio）に乗せて毎日提供しています。Amanek チャンネルでは、クルマ、気象、音楽とゆかりの深いナビゲーター達が、毎日の17時～19時の生放送を担当。運転中のドライバーへ、「空からドライバーを見守る」ために開発した「コンテンツモニター」を見ながら気象情報をお伝えしたり、ドライブミュージックや、旬なドライブ情報をお届けします。

生放送時間帯以外にも、最新ヒット曲からスタンダードナンバーまでドライブが楽しくなるサウンドを。また、各エリアの天気予報やドライブスポット情報を、走行位置に応じてロボットナビゲーターが伝えます。

Amanek チャンネルは、いつでもドライバーの安心・安全、ドライブの楽しさをサポートします。

＜マルチメディア放送『i-dio（アイディオ）』とは＞

新放送サービスであるマルチメディア放送『i-dio』は、地上アナログテレビ放送終了後に空いた周波数帯（VHF-Low帯＝99MHz～108MHz）を利用して創設された放送サービス。既存のテレビでもラジオでもない全く新しい“第3の放送”です。

テレビは「映像」を送る、ラジオは「音声」を送ることが義務付けられていますが、「i-dio」は、映像・音響・データなど、デジタルデータなら何でも送ることが可能。また放送波で送信するため、通信とは異なり、輻輳もなく、不特定多数に情報を送ることができ、さらにリアルタイム放送・蓄積型放送も可能です。

2016年3月1日からのプレ放送を経て、2016年7月1日にグランドオープンを迎えました。2017年3月時点での放送エリアは東京・大阪・福岡・東海。その後順次、全国へと拡大しています。

URL：<http://www.i-dio.jp/>